



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

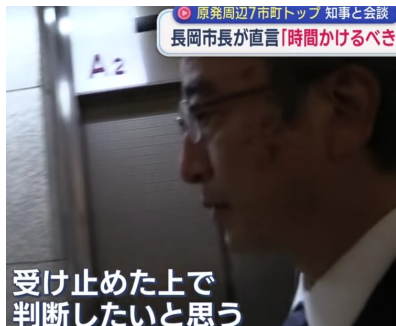


原発再稼働ストップ

悩む花角知事がんばれ！“悩む姿は良心の証！” 5～9割の県民の不安と懸念を覆す調査結果は出ず！

東電が10年で1,000億を新潟県にくれる話だけど、ちょっと待って！
10年で1,000億円ってことは、県民は207万人なので、一人当たり1日13円、たった13円ですよ！
13円で、毎日の安心と安全を手放せませんか？ 知事も県議も考え直して！！！！

県民意識調査でも、追加調査の結果でも質問項目によって、5割6割8割9割の県民が不安と問題ありと回答！それでも再稼働「容認」の判断すれば民意って何？
花角知事が行った県民意識調査は質問項目によって5割・6割・8割・9割と、東電による柏崎刈羽原発の再稼働に不安と問題を感じていることが明らかになりました。
悩みぬいてる知事頑張れ「良心の灯」を消すな！



11.14 7市町トップとの会談を終えて県庁に戻る花角知事にTVが取材

「地震大国日本の原発の難しさを肝に銘じるべき」は東電だけでなく、語った自民党議員自身の心にこそ銘ずべき言葉ではないか。
「安全を最優先に安全対策にはコストを惜しまずに対応してほしい」の厳しい言葉は、スキのない避難計画も含め、全ての安全対策が具体化されてこそである。
F1(東電福島第一原発)の事故処理費用は23・4兆円と膨らみ、原資は国民の税金と電気料金が充てられる
事故から13年が経った今も福島に帰れない避難者は約3万人であり、「帰りたいけど帰れない。仕方なく避難先に住所を移した」

など、福島に帰りたい県民の正確な把握は一層難しくなっています。
花角知事、金に負けるな！安全と安心を守って！良心に直撃に向き合って！
なんでもお金で済まそうとする大人のすきさんだ心で、子どもたちの未来と良心の灯を消すな！

遠藤れい子の笑顔でファイト

新潟県の財政は悪化している。2022年の実質公債費比(借金返済に

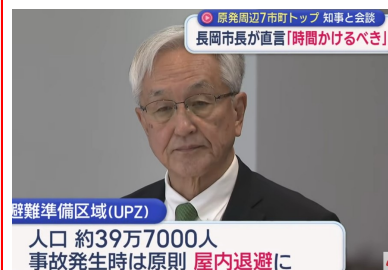
通以下であった！
新潟県の財政は悪化している。2022年の実質公債費比(借金返済に

原発あっても「新潟県の財政は悪化。全国ワースト2位」



11.15 講演する藤堂史明さん

11月15日、「原発再稼働を考える市民のつどい」に参加しました。
「原発で柏崎市の産業への影響はどうであったか？」、環境経済学専門の新潟大学の藤堂史明さんが講演されました。
1970年代から新潟県経済を追跡した結果、プラスだったのは建設業のみ。他の産業は全て普通以下であった！
新潟県の財政は悪化している。2022年の実質公債費比(借金返済に



11.14「長岡市を中心に再稼働へ不安の声が寄せられた。県民理解をもっと進める必要がある」磯田市長

11・25

原発再稼働ストップ
県庁包囲行動に参加を